

森のステーションかめおか 「匠ビレッジ 天然砥石と匠の技」 オープン!

「研ぎ文化と匠の技」の発信

昨年10月、亀岡市交流会館(宮前町)において事業を開始した森のステーションかめおか内に、新たな施設として「匠ビレッジ 天然砥石と匠の技」が4月22日にオープンしました。

同施設は、和食、伝統建築、日本刀などの伝統文化を支えてきた天然砥石と研ぎの文化の魅力を伝える発信拠点です。館内には、砥石の採掘現場をイメージしたオブジェや、包丁・大工道具・日本刀など砥石によって磨かれる道具のイメージブースを設置しており、地元で産出された天然仕上砥石のほか、日本全国で産出された貴重な砥石を集め展示した「天然砥石



▲砥石の採掘現場をイメージしたオブジェ



▲さまざまな天然砥石を展示

展示コーナー」、また自前で持参された切れ味の悪い包丁の研ぎ指導をしてくれる「研ぎ体験コーナー」の常設、市内の匠が作り出した木工芸作品約50点の展示など、砥石や木文化の魅力を存分に堪能できる展示・体験型観光施設です。

天然砥石の魅力

人類は、有史以前から刃物の技術を発達させてきました。我が国においても、刃物を用いた優れた固有の文化が創り上げられ、その立役者が天然砥石でした。天然砥石で良く切れる刃物に仕上げ、その刃物をめぐるさまざまな文化や日本の繊細な伝統技術が今も各地で数多く受け継がれています。しかし工業技術の発達とともに、人造砥石にその座を譲り、現在天然砥石を採掘している人はわずかとなってきています。

京都は、かつて天然砥石の本邦唯一の産出地として、日本の文明・文化を支えてきました。今ではほとんど知られなくなつたこの歴史を、ここ森のステーションかめおかで後世に伝えてま



▲包丁などの研ぎ体験ができます

います。
あなたも、包丁持参で砥石の魅力に触れに、森のステーションかめおか「匠ビレッジ 天然砥石と匠の技」にぜひお越しください!

詳しくは

<http://toishi-kan.info/>

